

市議会だより

No.230

令和5年8月10日発行

編集/発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506

FAX.0776-20-5744



5月9日 初会合



5月30日 5月臨時会



6月8日 新議員の市有施設視察



6月19日 議員研修会

新体制の福井市議会 始まる



6月26日 6月定例会

福い福!
いまの時代、自分からアピールしなきゃ!
福井市

5月臨時会
(5月30日)

正・副議長などの各役職を
選出しました

詳細は2ページ

市長提出の議案2件、報告9件を
審議しました

主な議案は3ページ
審議結果は11〜12ページ

6月定例会
(6月26日〜7月13日)

市長提出の議案52件、報告15件を
審議しました

主な議案は3ページ
審議結果は11〜12ページ

請願2件、陳情1件を審議しました

審議結果は11〜12ページ

委員会審査

詳細は3〜4ページ

議員26人が一般質問を行いました

詳細は5〜10ページ

↑ **改選後の議会活動**

令和5年5月から、第36期の福井市議会が始まりました。5月30日の臨時会では、正・副議長のほか、議会選出の各役職を選出しました。

また、6月初旬には新議員を対象とした事業説明会や市有施設視察を行ったほか、全議員を対象とした議員研修会を実施しました。

6月26日には、バリアフリー改修を終えた新たな議場で、令和5年6月定例会を開会しました。

議会の構成

◆ 八田 一以 議長



八田議長は市議当選3回で、この間、建設委員会委員長、予算特別委員会委員長のほか、監査委員などを歴任しました。
 【住所】
 福井市上中町29-38-1

◆ 菅生 敬一 副議長



菅生副議長は市議当選3回で、この間、総務委員会委員長、教育民生委員会委員長のほか、監査委員などを歴任しました。
 【住所】
 福井市北四ツ居一丁目27-4

(敬称略)

委員会名		委 員 名					◎委員長 ○副委員長
常任委員会	総務	◎寺島 恭也 伊藤 洋一	○玉村 正人 田中 義乃	皆川 信正 漆崎 與	今村 辰和	鈴木 正樹	
	建設	◎池上 優徳 岩佐 武彦	○津田 かおり 葛野 早智代	加藤 貞信 高田 稔浩	青木 幹雄	奥島 光晴	
	教育民生	◎榊原 光賀 菅生 敬一	○村田 耕一 山田 文葉	見谷 喜代三 佐野 弘	藤田 諭	近藤 實	
	経済企業	◎酒井 良樹 八田 一以	○下畑 健二 浦上 逸人	堀川 秀樹 宮岡 勝也	野嶋 祐記	堀江 廣海	
議会運営委員会		◎堀江 廣海 藤田 諭	○堀川 秀樹 田中 義乃	見谷 喜代三 池上 優徳	今村 辰和 酒井 良樹	下畑 健二 榊原 光賀	
特別委員会	北陸新幹線開業効果最大化対策	◎皆川 信正 寺島 恭也	○津田 かおり 山田 文葉	堀川 秀樹 浦上 逸人	野嶋 祐記	藤田 諭	

議会選出の各役職一覧

監査委員	青木 幹雄 玉村 正人
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	八田 一以 菅生 敬一 奥島 光晴 寺島 恭也 酒井 良樹
鯖江広域衛生施設組合議会議員	皆川 信正 堀川 秀樹 藤田 諭
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	八田 一以 青木 幹雄 伊藤 洋一
土地開発公社理事	八田 一以 菅生 敬一 下畑 健二 村田 耕一 池上 優徳
都市計画審議会委員	今村 辰和 八田 一以
社会福祉審議会民生委員審査専門分科会委員	堀江 廣海
青少年問題協議会委員	佐野 弘
少年愛護センター運営委員会委員	榊原 光賀 高田 稔浩
社会教育委員	野嶋 祐記 津田 かおり 浦上 逸人
通学区域審議会委員	鈴木 正樹 菅生 敬一 葛野 早智代
学校給食運営委員会委員	加藤 貞信 山田 文葉 漆崎 與

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、11～12ページに掲載しています。

5月臨時会

計で2,404億8,953万3千円となります。

人事案件

○監査委員

監査委員の欠員を補充するため、青木幹雄氏と玉村正人氏を選任することに同意しました。

6月定例会

令和5年度補正予算

6月補正予算は、原油価格・物価高騰により、大きな影響を受けている市民生活や地域経済への支援を行うほか、北陸新幹線福井開業に向け、魅力創出や利便性向上につながる取組その他各種施策を推進するために予算措置が必要になった事業について計上するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で12億7,426万8千円、中央卸売市場特別会計で2,226万5千円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1,320億8,926万8千円、特別会計で766億1,326万5千円、全会

【主要事業】

- Ⅰ原油価格・物価高騰への対応に関する事業
 - ・地域鉄道電気料高騰対策支援事業
 - ・バス事業者特別支援事業
 - ・まちなかにぎわい創出事業
 - ・低所得世帯電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金事業
 - ・障がい福祉サービス事業所への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業
 - ・介護サービス事業所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業
 - ・私立保育所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業
 - ・私立保育所等給食材料費高騰対策事業
 - ・ものづくり企業エネルギーコスト対策事業
 - ・商店街装飾灯電気料高騰対策事業
 - ・畜産経営緊急支援事業
 - ・水産業電気料高騰対策緊急支援事業
- Ⅱ新型コロナウイルス感染症対応に関する事業
 - ・農業水利施設電気料高騰対策緊急支援事業
 - ・学校給食材料費高騰対策事業
 - ・市場内事業者電気料高騰対策緊急支援事業
- Ⅲ新幹線開業に向けた事業
 - ・定羽川周辺エリアのにぎわい創出支援事業
 - ・ふくいMaas構築事業
 - ・EVすまいるバス×イケボイス化支援事業
 - ・恐竜ホテル改修支援事業
 - ・多様な宿泊施設整備支援事業
- Ⅳ各種施策を推進するための取組
 - ・ホームページリニューアル事業
 - ・庁内会議DX事業
 - ・県営街路事業負担金
 - ・マイナンバーカード交付事業
 - ・生活保護システム改修事業
 - ・私立教育・保育施設等整備補助事業
 - ・医療的ケア児保育支援事業
 - ・水産物ブランド化推進事業
 - ・森林経営管理事業
 - ・林道施設災害復旧事業
- V債務負担行為の設定
 - ・学校給食管理システム整備事業

※補正予算の概要については、市財政課のホームページを御覧ください。



条例

○福井市市税賦課徴収条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税における森林環境税の課税開始に係る規定の整備、固定資産税におけるマンション長寿命化促進税制の創設その他所要の規定の整備を行うものです。

○福井市手数料徴収条例及び福井市印鑑条例の一部改正について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、多機能端末機による各種証明書の交付申請について個人番号カード以外の認証方法にも対応できるようにするものです。

○福井市火災予防条例の一部改正について

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、急速充電設備の全出力の上限を撤廃し、火災予防上必要な措置を定めるとともに、喫煙等に関する規定の標識及び図記号について、所要の規定の整備を行うものです。

人事案件

○教育委員会教育長

令和5年6月26日に任期満了となる教育長に吉川雄二氏を再び任命することに同意しました。

○農業委員会委員

令和5年7月19日に任期満了となる農業委員会の委員に35名の委員を任命することに同意しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(委員会終了順に掲載)

総務委員会



《ホームページリニューアル事業について》

問 2,000万円以上の予算をかけてホームページをリニューアルすることだが、何年ぶりの更新になるのか、また、今回のリニューアルは、

北陸新幹線開業に向けたプロモーションという意味合いもあるものと考えているが、どのようなところに重点を置いて更新していくのか。

答 平成26年2月にリニューアルして以来、10年ぶりの更新となる。北陸新幹線の福井開業を控える中、現在、福井市観光公式サイト「福いろ」の閲覧者数が大変増えてきている状況であることから、これまでに以上にこの「福いろ」との連携に力を入れ、観光PRという面でのホームページの役割をしっかりと果たしていきたいと考えている。あわせて、移住定住に関して、従来からある内部サイトを、より見やすく分かりやすいものとなるよう内容を更新していきたい。

《財産の取得について》(C・D・I型消防ポンプ自動車)

問 消防ポンプ自動車の使用年数が15年を超え、老朽化が進んでいるとのことだが、消防車両の更新はどのような計画で行っているのか。

答 経過年数や使用頻度、故障具合などを考慮して、車両の種類ごとに耐用年数を定めており、救急車、指揮車、広報車などは10年、また、消防ポンプ車、救助工作車は15年、さらに、はしご車、消防団の車両、

化学車などは20年を目安に更新している。

建設委員会



《足羽川周辺エリアのぎわい創出支援事業について》

問 わくわく感を感じる大変よい事業ではあるが、例えば花見の時期の河川敷には、一部のモラルを欠いた花見客が放置したごみや残飯に毎朝カラスが群がり、近隣住民がいつも頭を悩ませている状況を見ると、同様のことが起きるのではないかと衛生管理の面に不安を感じる。また、水場やトイレが整備されると、その利便性から、他県での例にもあるようにホームレスの人たちがテントを張って住み着いてしまうのではないかと懸念がある。継続的に事業を実施していくためにも、当初からしっかりとした管理体制を整備する必要があると考えるがどうか。

答 河川は場所によって管理者が異なっており、今回提案している足羽川アクティビティセンターの整備予定箇所の周辺は県が管理する場所、現在はまちづくり福井株式会社が包括占用者として管理している。清掃やごみ処理といった衛生環境の管理については

非常に重要なことと考えているため、関係所属とも連携しながら、河川敷を良好な環境に保てるよう維持管理に努めていきたい。

《福井市営住宅条例の一部改正について》

問 収入を申告せず市営住宅に3年以上住んでいる入居者が、市による調査の結果、入居可能な収入の額を超えていると判明した場合は収入超過者として認定し、退去するよう通知を行うとのことだが、入居者がそれに応じない場合はどうするのか。

答 収入超過者と認められる場合は、即明渡しというわけではなく努力義務にとどまるため、本人に通知して退去を促していくことになるが、その中でも一定以上の収入がある高額所得者については努力義務ではなく義務となることから、そういった方に対しては明渡しの義務があることを明示し、退去をお願いしていくことになる。

経済企業委員会



《多様な宿泊施設整備支援事業について》

問 宿泊業者が行う魅力的な宿泊施設への改修を支援することのことが、具体的にどのような改修を想定しているのか。

答 これまで、恐竜ホテルへの改修に対し支援を行ってきたところであるが、多様な観光ニーズに対応するため、例えば、ペット同伴で泊まれるようにするなど、恐竜仕様以外の施設であって、福井に来るための目的となり得るようなコンセプトルームへの改修などに対して支援していく。

《水産物ブランド化推進事業について》

問 養殖したサクラマスブランド化を図るため、様々な事業を実施していると思うが、その成果についてどのように分析しているのか。

答 「1じのさくらます」の養殖事業については、令和4年度が422尾、5年度が520尾以上生産され、市内の各店舗に対し直販の推進を図っているところである。今年度は5店舗の飲食店で、1じのさくらますを使った料理が提供され、かなり好評であった。

《要望》

実際に、どれくらいの売上というところで、取扱店舗に聞き取りを行うべきではないか。加えて、一部には評判が悪かったとの声も耳にしていることから、こつこつたことをしっかりと分析した上で、今後の改善につなげていってほしい。

教育民生委員会



《学校給食管理システム整備事業について》

問 新学校給食センターには、個人ごとの食物アレルギーの状況等を管理するシステムを導入とのことだが、食物アレルギーを持つ児童・生徒はどれくらいいるのか。

答 現在、食物アレルギーを持つ児童・生徒は市内に約400名おり、全体の約2%となっている。

問 このシステムの導入により、食物アレルギーを持つ児童・生徒一人一人に対応した個別の給食を提供することになるのか。

答 食物アレルギーには様々な種類があるが、新学校給食センターでは、このうち食品表示法で規定されている卵、乳、小麦、そば、エビ、カニ、落花生といった特定アレルギー食品目のアレルギーを持つ児童・生徒を対象に、アレルギー対応給食を提供することとなる。また、令和7年4月からは、この7品目のほかに「くるみ」が特定アレルギー品目として追加されることになっているため、今回導入するシステムでもこれに対応できるものとしていく予定である。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、7月3日から5日までの3日間、26人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 見谷 喜代三 (一真会)</p> <p>1 次期市長選に向けた東村市長の思いについて</p>	<p>⑨ 高田 稔浩 (市民クラブ)</p> <p>1 福井市役所の障がい者雇用および障がい者である職員の処遇について</p> <p>2 避難所に指定されている学校施設について</p> <p>3 交通弱者に対する移動手段の確保について</p> <p>4 ふくい桜マラソンの参加資格について</p>	<p>⑰ 今村 辰和 (一真会)</p> <p>1 選挙ポスター掲示板の設置場所について</p> <p>2 福井市施設マネジメントアクションプランについて</p>
<p>② 皆川 信正 (一真会)</p> <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 浸水対策について</p> <p>3 空家対策について</p> <p>4 福井縦貫線拡幅について</p> <p>5 ペット葬儀場の建設等に係る許可について</p>	<p>⑩ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <p>1 学校教育の取組について</p> <p>2 災害時の避難について</p> <p>3 ジェンダー問題について</p> <p>4 原発推進のGX法について</p>	<p>⑱ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <p>1 働き方改革や原材料価格高騰に係る公共工事について</p> <p>2 河川改修中の災害対策について</p>
<p>③ 田中 義乃 (新政会)</p> <p>1 北陸新幹線福井開業に向けて</p> <p>2 学校教育について</p> <p>3 養浩館庭園と葵会館について</p>	<p>⑪ 葛野 早智代 (一真会)</p> <p>1 子育て世代が福井駅周辺を利用する時の駐車料金について</p> <p>2 競輪場の子育てイベントについて</p> <p>3 保育士不足の解消について</p> <p>4 市のマッチングアプリの周知拡大について</p>	<p>⑲ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <p>1 マイナ保険証の問題について</p> <p>2 地域おこし協力隊への行政支援のあり方について</p> <p>3 アリーナ構想への市の支援のあり方について</p> <p>4 学費支援強化の必要性について</p>
<p>④ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 お年寄りの運転免許証の返納促進にも効果があると思われる富山市が取り組む市内在住の65歳以上の方が対象のおでかけ定期券について</p> <p>2 医療的ケア児の現状把握について</p> <p>3 市役所本館の時間外窓口の問題点について</p> <p>4 中心市街地における食品スーパーの必要性和プリズム福井の動向について</p> <p>5 福井市の観光の課題について</p> <p>6 福井市の観光戦略について(ふくいMa a S)</p> <p>7 都市間交流による広域連携プロモーションについて</p> <p>8 県外からの観光誘客につながるふくい桜まつりや福井フェニックスまつりの実施方法や内容を大胆に見直すことについて</p> <p>9 福井県が北陸新幹線福井開業に向けてイベントスケジュールを発表しているが、福井市も共催するべきでは？</p>	<p>⑫ 近藤 實 (無所属)</p> <p>1 令和4年度福井市一般会計決算の黒字額(実質収支)</p> <p>2 201億円と203億円(市債残高と財政の健全性)</p> <p>3 財政部の部局マネジメント方針</p> <p>4 下水道事業の農業排水分27,500万円を予算計上すべきこと</p> <p>5 水道事業、下水道事業の経常利益等</p> <p>6 ふるさと納税寄付額予算について</p> <p>7 自動車損害事故と道路予算の増額</p> <p>8 環境政策、特にゼロカーボンシティへの取組</p> <p>9 人事異動のあり方について</p> <p>10 若草公園復旧工事6,280万円は適切か？</p> <p>11 教科書が記述する性の多様性・LGBTへの疑問</p>	<p>⑳ 岩佐 武彦 (無所属)</p> <p>1 足羽川を活用した新たな観光誘客について</p> <p>2 児童のコロナ後の活動再開について</p> <p>3 市街化調整区域の見直しについて</p> <p>4 自転車のヘルメット着用について</p>
<p>⑤ 野嶋 祐記 (新政会)</p> <p>1 中心市街地活性化について</p> <p>2 入札制度について</p>	<p>⑬ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <p>1 本市の観光文化施策の取組について</p> <p>2 本市の子ども行政について</p> <p>3 高齢者の生活支援について</p>	<p>㉑ 寺島 恭也 (一真会)</p> <p>1 無縁遺骨と本市墓地公園の現状と今後について</p> <p>2 消防用設備等の定期点検の実施率について</p>
<p>⑥ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 災害対策の推進について</p> <p>2 第2次福井市都市交通戦略について</p> <p>3 障がい者福祉の充実について</p> <p>4 学校管理下の事故予防について</p>	<p>⑭ 宮岡 勝也 (無所属)</p> <p>1 マスク着用の悪影響について</p> <p>2 新型コロナワクチンに関するリスク周知について</p> <p>3 LGBT理解増進法の危険性について</p> <p>4 予防医療推進について</p> <p>5 食料自給率を上げていくことについて</p> <p>6 昆虫食の危険性について</p> <p>7 政治を身近に感じてもらうことについて</p> <p>8 自治会加入率を高めることについて</p>	<p>㉒ 漆崎 與 (一真会)</p> <p>1 福井市南部スマートインターチェンジについて</p> <p>2 高齢者の買い物支援と移動手段の確保について</p>
<p>⑦ 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 国道8号について</p> <p>2 介護予防・日常生活支援総合事業について</p>	<p>⑮ 浦上 逸人 (一真会)</p> <p>1 地域コミュニティへの取組について</p> <p>2 市職員の働き方改革について</p>	<p>㉓ 津田 かおり (公明党)</p> <p>1 心と体を守る取組について</p> <p>2 空き家・空き家予備軍の現状と今後の対策について</p> <p>3 こども家庭庁発足に伴う本市の取組について</p> <p>4 図書館のさらなる充実について</p>
<p>⑧ 加藤 貞信 (新政会)</p> <p>1 福井市のまちづくりについて</p> <p>2 福井市北部地域学校規模適正化について</p>	<p>⑯ 佐野 弘 (一真会)</p> <p>1 商工業について</p> <p>2 教育・子育てについて</p> <p>3 農林水産について</p> <p>4 地域振興について</p>	<p>㉔ 奥島 光晴 (新政会)</p> <p>1 6月補正予算案について</p> <p>2 小・中学校教諭の残業について</p> <p>3 子どもの新たな居場所について</p>
	<p>⑰ 酒井 良樹 (市民クラブ)</p> <p>1 市民サービスの充実について</p> <p>2 市民に分かりやすい情報発信について</p> <p>3 ゼロカーボンシティの実現と電気料金高騰について</p>	<p>㉕ 藤田 諭 (新政会)</p> <p>1 災害に強いまちづくりについて</p> <p>2 農業支援について</p>

回答

来年春には、北陸新幹線の県内開業を迎え、本市は新たなステージに立つこととなる。私自身は、次の市長選には出馬せず、今限りで身を引きたいと考えている。

心に秘めている人物については、これまで私と共に考え、議論を進めてきた人物、例えば市職員から市長選に立候補してくれれば、これまでの議論が継続できるのではないかと考えている。

意中の人物については、立候補する人の名は、まだ挙がっていない。今後、私が心秘める人物から声を挙げられたい際には、応援してまいりたい。

質問

東村市長は、次期市長選挙5期目の出馬についてはどのように考えているのか。出馬しないというのであれば、後継者として頭の中に思い描いている、あるいは心に秘めている人物はいるのか。また意中の人物が誰なのか考えを伺う。

次期市長選に向けた東村市長の思いについて



見谷 喜代三 議員
一真会

一般質問要旨



東村市長の政治姿勢について

質問

人口減、西口の再開発、財政再建、地域の各々の課題を解決し進展させたのか。百年に一度のチャンスはどう生かし、全国に誇れる福井の実現は成ったのか。率直に自己評価を伺いたい。今期で引退を表明したが、市長選挙の時期をどう考え、市長の後援会をどうするのか。

回答

市長就任以来、4期16年間、「希望と安心のふくい」を実現するという強い思いの下、様々な施策に取り組んできた。それぞれの施策は、全体としては順調に進捗しており、まだ途中段階の事業等もあるが、為すべきことは為し得たと感じている。

次期市長選挙の時期については悩んだが、今任期中、北陸新幹線福井開業が1年延期となり、早期開業のための職務を遂行することに邁進してきたため、任期中中で辞めるという考えはなくなつた。

後援会組織の方には、まだ自分の考えをお示ししていないため、今後整理していく。



新幹線開業イベントについて

質問

北陸新幹線福井駅開業まであと8か月となり、再開発事業や駅周辺整備、二次交通や観光プロモーション等が佳境となっている。ハピリンやピテラス、周辺施設を含め、来年3月にどのような大規模イベントを計画しているのか。

回答

開業日及び開業翌日に、ハピテラス、ハピリンホール、観光交流センター、中央公園の4会場を拠点に開業記念イベントの実施を予定している。ハピテラスで開会式を行うほか、ハピリンホールでは、恐竜王国ふくいを印象づける臨場感あふれる動く恐竜を体験できる「ディノ・ア・ライプ」や、福井市ゆかりの著名人によるトークイベントを開催する。

観光交流センターでは、新幹線に合わせ開業する「ハピラインふくい」など二次交通に関する特別企画、中央公園では、市民の皆様が楽しんで参加できる体験企画など、新幹線開業にふさわしい特別感のあるイベントを実施する。



医療的ケア児の現状把握について

質問

福井市では医療的ケア児の実数や症状が把握されておらずこれまでに予算化する際に数値の読み違いが生じており本来当事者が求める施策が正しく予算化されていない。これを適正化するためにどのような対策をしていくのか。またその対策はいつまでに構築するのか。

回答

医療的ケア児の現状について、健康管理センターや障がい福祉課など、各機関で実態の把握に努めている。

これまではプライバシー保護の観点から、各機関で得た情報の共有を行っていないかったため、保育園等の入園の案内については、積極的なアプローチが不十分な状況だった。今後は、情報提供に当たって、保護者の同意を取ることや共有する情報の範囲をどうするかなどについて、福井市医療的ケア児者支援推進協議会の意見も聞きながら、年度内には情報を一元化できるよう進めていく。



中心市街地の活性化について

質問

駅前周辺での今後のマンション建設計画は何棟で、何戸予定されているのか。

また、まちなかでの居住を促進する上で、居住実態の把握と今後の課題をどのように考えるか。

回答

マンション建設計画は、福井駅前電車通り北地区A街区で、一般向け住宅118戸、アクティブシニア向け住宅106戸、福井駅前電車通り北地区B街区で62戸、福井駅前南通り地区で92戸、計378戸となっている。

マンション居住の実態把握は、売買や相続などによる変動に加え、個人情報保護の観点から難しく、特に中心市街地では週末利用や社宅利用など様々な利用形態がある。今後も中心市街地における再開発事業などに対する支援を行い、商業、業務、福祉などの多様な都市機能の維持・誘導に努め、居住環境の充実と魅力向上に取り組みすることで、都心居住を推進していく。



老朽化が目立つ防災行政無線設備の見直しについて

質問

本市の防災行政無線設備は、目標耐用年数20年に対し、15年が経過しており、老朽化が目立つ。市民への災害時の情報伝達は屋外スピーカーではなく、個人に直接届くことが大事と思うが、見直しについての見解を伺う。

回答

本市では防災行政無線以外に、登録制の防災気象情報メール、ヤフー防災速報アプリ、LINE、ツイッターなどを活用して防災情報を配信しており、個人の携帯電話やスマートフォンにも届く仕組みを整備している。また、電話(2512914)で放送内容を確認することもできる。

防災行政無線の老朽化については、しっかりとメンテナンスを行い、必要な部品の確保に努める。更新については、防災行政無線専用の回線を使用する現在の方式だけでなく、携帯電話事業者が所有する回線を活用するなど、様々な方式を検討していく。



介護予防・日常生活支援総合事業について

質問

社会全体としてますます高齢化が進む中、要介護状態になることをできる限り防ぐ、または遅らせる取組は、元気な高齢者を増やすために大変重要である。総合事業を利用することで健康寿命の延伸につながるっていくのなら、有効期間は短いのではないかと。

回答

総合事業のうち、介護予防・生活支援サービス事業は、国のガイドラインに沿って取組を進めてきた。しかし、昨年度、自立支援の必要性を判断する際の面談や、サービス利用の効果測定が不十分との指摘を国から受けた。そこで、専門家で構成する検討会議で議論し、介護予防の効果を高めるため、一定期間ごとの効果測定と、その結果に基づく適切なマネジメントが必要との結論に至り、1年間の有効期間を設定することとした。有効期間後の効果測定で目標を達成した場合は、一般介護予防事業につなげるなど、本人のセルフケアが習慣化されるよう支援していく。



森田・河合地区のまちづくりについて

質問

森田小学校が2校化されることで、地域が2つに分かれるような感じがする。今後、地域や公民館、学校の行事など、地域コミュニティが一つにまとまり続けるために、どのような点に気を配ると良いと考えているのか。

回答

森田地区は、小学校が2校化された後も、公民館や自治会連合会、まちづくり組織などは2つに分かれることはなく、地区全体で活動を継続していくことになる。今後も、地域住民が一体となって地域行事などを行うことで、小学校区が違う児童であっても森田地区への誇りや愛情が育まれ、将来にわたって地域が一つであり続けることができるものと考えている。本市としては、森田まつりなど地区全体で行っている魅力的な地域の行事を通して、校区は違っても同じ地区の住民同士、交流が促進されるよう支援していきたい。



重度障がい者に対するタクシー利用助成券を増やすことについて

質問

自動車を運転できる障がい者に対する社会的支援と、運転できない障がい者（交通弱者）に対する社会的支援との均衡・公平性を図るために、タクシー利用助成券の交付枚数を年間48枚にしてはどうかと考えるが、所見を伺う。

回答

本市では、移動に困難を伴う在宅の重度障がい者の方に対し、初乗り基本料金を助成するタクシー券を年間36枚交付している。令和4年度の実績は、交付対象者2,783人のうち、1枚以上使用した方は1,710人、利用総数は35,551枚で、1人当たりの平均使用枚数は約21枚となっている。これらの利用実績から、現時点では交付枚数を増やすことは考えていないが、今後も対象者の御意見や利用実績などを踏まえながら、在宅の重度障がい者の利便性向上につながるよう制度運営に努める。



福井市では、いつパートナーシップ条例を制定するのか

質問

パートナーシップ条例は全国で328自治体、県内でも越前市・鯖江市・勝山市・あわら市と4市で制定されている。制定されると市営住宅の入居や病院の面会、クレジツトなどの家族サービスが受けられる。本市はいつパートナーシップ条例を制定するのか。

回答

パートナーシップ宣誓制度は、全国の自治体において導入が進んでいるところであり、全国では278自治体、中核市では本市を除く61市中、29市で既に導入されている。先日、福井県議会の知事提案理由説明において、「県では秋ごろを目途に制度導入を目指す」との知事の発言があったことを受け、本市としても県と歩調を合わせ、同時期に制度を導入する方向で手続を進めていきたいと考えている。



市のマッチングアプリについて

質問

様々な婚活イベントが市で広報されているが、市で行っているマッチングアプリは20歳以上が対象であるため、「はたちのつどい」で周知してはどうか。

回答

県と本市を含む県内全市町では、令和2年11月に、「ふくい婚活サポートセンター」「ふくく恋」を開設し、A1が相性のよい相手を紹介する機能を備えたマッチングシステムを運営している。また、昨年11月には、ふくい結婚応援ポータルサイトを立ち上げ、SNS等で周知拡大を図っている。本市においても、婚活セミナーなどの参加者に対してマッチングシステムの周知、登録を呼びかけているが、20代の会員は全体の15%と、まだまだ認知されていない。こうした世代に対し、早い段階から結婚意識を醸成することは重要であると考えているため、「はたちのつどい」の案内はがきなどに掲載して周知できるよう検討していく。



自動車損傷事故と道路予算の増額について

質問

市道破損による自動車損傷事故がとても多い。道路陥没によるタイヤ等損傷や側溝蓋欠損による人身事故など、令和3年度33件、4年度23件、小さな子供や妊婦が乗っている場合は大きな人身事故になることが危惧される。道路予算の増額を真剣に検討してほしい。

回答

道路の損傷程度や交通量を考慮し、優先度の高い箇所から速やかに舗装を行っているが、損傷箇所が多く、応急補修で対応している箇所もある。道路は市民が安全安心に生活するための基盤となる重要なインフラであり、道路舗装等の予算は市民生活に直結する大事な予算であるが、大幅な増額については、職員数に限りもあるため対応しきれないと考えている。

今後早期に舗装の損傷を発見・補修して事故を防ぐとともに、道路の予算を的確に執行していく。



高齢者の生活支援について

質問

まちなかにおいて食料品や日用品等を買って帰る場所が大変少なくなった。これらの生活支援についてどのように取り組まれるのか。

回答

本市では、低所得の高齢者世帯を対象に、軽度生活援助事業「えがおでサポート事業」の中で買い物代行サービスを実施している。本年4月1日時点の登録者数は107人で令和4年度の延べ利用者数は121人である。

また、多機能よろず茶屋「ささえあいの家」において、ボランティアによる見守りや買い物代行を実施しているほか、高齢者等の地域貢献活動を支援する介護サポーターポイント事業においても、買い物代行への参加を呼びかけている。これらの事業を推進してきたことにより、住民の互助による高齢者支援の輪は広がっていると考えている。

今後、これらの事業をさらに発展させながら、地域共生社会の実現を目指していく。



マスク着用の悪影響について

質問

子どもたちの間で同調圧力が働かぬよう、マスクのデメリット等正しい情報を保育・学校・教員・保護者・地域社会へ通知しているのか。

回答

熱中症や運動時の呼吸障害のリスクが高まることを、学級活動や集会等の機会を通じて児童・生徒に指導を行い、保護者にも周知してきた。

さらに、表情が分かりにくい、コミュニケーションが取りにくいなどといったデメリットについても、授業の機会を捉え、児童・生徒に伝えてきた。

今後、マスクの着用を求めないことを基本としつつ、個人の希望も尊重しながら、場面に応じたマスクの着脱について周知していく。



地域コミュニティへの取組について

質問

社会課題の解決のため、市と地域コミュニティは連携が必要だが、マンション等の住民の自治会への加入について、市はどのような取組を行っているのか。また、地域コミュニティ活動を実施する場所として、公民館以外の市有施設を貸し出してはどうか。

回答

本市では、不動産会社と連携して、集合住宅入居者が参加する管理組合の会合に職員が直接出席し、自治会の役割やメリットを説明するなどの取組を行っている。また、自治会加入率の低い地区の小学校を対象として、入学前の健康診断の際に、集合住宅の入居者を含む、参加した保護者全員に向けて、加入の呼びかけを行っている。

市有施設については、それぞれ設置及び管理に関する条例等で趣旨や目的を定めている。目的に沿わない利用での貸出しはできないが、幅広い目的で運営している施設もあるため、そうした施設の一覧を公民館に情報提供していく。



企業の高付加価値化への支援、子育てを支える社会づくりについて

質問

働きやすい職場環境づくりに取り組む企業の高付加価値化・省力化支援について伺う。また、独り親・共働き世帯など孤立しやすい子どもを社会全体で見守っている子ども食堂などの活動への支援について、所見を伺う。

回答

本市では、IoT、ロボットの活用等による省力化を含めた中小企業のDXを推進するため、DX人材の育成を支援している。また、中小企業者に専門家を派遣し、DX計画の作成、取組後のフォローアップまでを伴走型で一貫して支援しているほか、設備導入支援を行っている。

子ども食堂などの活動への支援では、市内全域を対象に子どもの居場所づくりなどの活動を行っている団体を支援している。今後、地域での子どもの支援に取り組む団体を増やすとともに、団体同士が物資調達等の面で協力し合えるネットワークづくりにも取り組んでいく。



**福井市施設マネジメント
アクションプランについて**

質問

施設マネジメントアクションプラン第1期のこれまでの取組の評価と財政効果について、また令和6年度から令和10年度までの第2期の取組の概要、数値目標の達成見込みについて伺う。

回答

施設マネジメントアクションプラン第1期では、28施設を廃止し、削減した延べ床面積は4万8,000平方メートルとなり、数値目標を大きく上回ることができた。また、財政効果については、令和元年度から令和3年度までの削減目標額1億7,500万円に対し、約2億1,000万円削減しており、順調に進捗している。

第2期では、市有施設368施設について取組を行う。数値目標については、延べ床面積1万2,000平方メートル以上を削減することとしているが、各施設ごとに設定した方向性を着実に実行することで、十分達成できるものと考えている。



働き方改革や原材料価格高騰に係る公共工事について

質問

働き方改革が進む中、学校施設改修の工期は大丈夫か。また、令和10年度に完成予定の足羽ポンプ場の工期の見通しは当初計画で妥当か。さらに、公共工事における原材料価格が高騰した場合の対応は。

回答

学校施設の改修については、木田小学校及び明倫中学校の大規模工事を予定しているが、工期内に工事が完了するように、施工業者及び学校と十分に協議を重ねていく。

足羽ポンプ場については、建設現場において週休2日を確保した工期設定が求められており、当初からそれを見込んだ工期となっているため、現時点で予定に変更はない。

原材料価格高騰の対応としては、材料単価の改定を毎月行い、最新の単価を積算に反映している。また、契約済の工事については、工期中に著しい価格変動があった場合、請負代金の変更が請求できるいわゆるスライド条項に基づき適切に対応していく。



返済を苦にした自死も：市独自の学費支援を

質問

警察庁などの調査で、学費の返済を苦にした自殺者が出ていることが明らかに。東村市長は昨年3月議会で市独自の学費支援を「研究を続けていかななくてはならない」と答弁した。その研究は市長の任期である12月までに結論を得るべきではないか。

回答

奨学金事業は国の制度である。国は令和6年度以降、授業料減免等の中間層への拡大、大学院の授業料後払い制度の創設及び貸与型奨学金における減額返還制度の見直しといった、制度の改正を検討しており、高等教育の負担軽減のため奨学金制度の充実に努めるとしている。

奨学金の返還に関しては様々な課題があり、その支援制度の内容については十分考案することが必要であることから、今後も国や県の動きを見極めながら、期限を設けることなく、その対応については適宜判断していきたいと考えている。



市街化調整区域の見直しについて

質問

高度経済成長期に制定された都市計画法で定める市街化調整区域では、住民が生活する上で必要なスーパーマーケット等の店舗の設置が認められておらず不便な思いをしている。時代に対応した区分への見直しをすべきだと思いが、どのように考えているのか。

回答

区域区分は、県が決定権限を有する都市計画の項目であり、平成26年に改訂された「福井都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の中で、基本的な考えが示されている。その中で市街化区域拡大の可能性は、線引き制度の基本的事項である人口及び産業の動向及び、それにより発生する新たな都市的土地利用の需要の見直し、市街地内の土地利用の現況等から判断していくものとされている。

福井都市計画区域では潜在的な市街化の圧力は高いと推測しており、このような状況下では、無秩序な市街化の拡散、調整区域内での開発の分散は抑制すべきと考えている。



消防用設備等の定期点検の実施率について

質問

新幹線開業に向けて、消防局では、点検報告率の向上について、どのような取組を行っているのか。また、利用者の増加が見込まれる宿泊施設や観光施設等の数と、点検報告率はどのようになっているのか。

回答

点検報告率の向上に向けた取組としては、点検報告を行っていない建物に関して重点的に立入検査を実施し指導していくことを考えている。また、ホームページやパンフレットなどを活用して、点検の重要性や報告の必要性を周知するなど、点検報告率のさらなる向上に努めていく。

市内における宿泊施設や観光施設等の数については、旅館やホテルなどの宿泊施設が94件、博物館や美術館などの観光施設が21件で、合計115件となっている。これらの施設の点検報告率は、令和5年3月31日時点で90.7%である。



福井市南部スマートインターチェンジ及び高齢者の移動手段について

質問

福井市南部スマートインターチェンジ及びその周辺での防災道の駅の実現に向けた取組と今後の予定について伺う。
高齢者の移動手段として、市南部4地区でのフルデマンドタクシーの取組を他地区に広げていく考えがあるか伺う。

回答

大規模災害発生時、災害復旧などの拠点となる防災道の駅については、現在、実現に向けて課題を整理しているが、スマートインターチェンジ周辺への整備が望ましいと考えることから、引き続き国や県に対し要望するとともに、スマートインターチェンジと併せて取組を進めていきたい。
フルデマンドタクシーは、電話等で予約することができ、希望の時間に目的地まで直接行くことができるという利点がある。これらの利点を踏まえ、他地区においても地域の皆様と交通手段について協議する中で、選択肢の一つとして提案していきたい。



こども家庭庁発足に伴う取組について

質問

こども家庭庁発足に伴う本市の今後の組織体制について伺う。また、子ども・子育てに関する相談をワンストップで聞いてもらえる場所についての見解を伺う。

回答

国は、子どもに関する政策を一元的に担い、「こどもまんなか社会」を目指す新たな司令塔として、こども家庭庁を創設し、市町村に対しては、こども家庭センターの設置を努力義務化した。同センターは、緊急性の高い課題に対応する機能を持っている。また、児童福祉分野と母子保健分野の相談支援を担うなど、部局をまたいだ対応が必要となるため、そのことを念頭に置いて組織体制にしていきたい。
また、本市では、妊産婦・子育て世帯・子どもに関する相談支援を行うセンターについては、ワンストップで対応できる窓口にしたいと考えており、そのことを踏まえた設置場所を検討している。



6月補正予算案について

質問

低所得世帯電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金事業の対象世帯を追加するため7,150万円を計上しているが、物価等の高騰は全世界の家計に重くのしかかっている。このような給付金の在り方の世界の潮流は全世界交付であるようだが、本市はどう考えるか。

回答

令和2年度に国民1人当たり10万円の特別定額給付金が給付されたが、その効果は総額12兆8,000億円の給付額のうち55%が消費に回るといふ内閣府の試算や消費押し上げ効果は2割程度とする民間シンクタンクの試算など様々な意見があり、国において検証が行われるものと考えている。
物価高騰の影響を受けている市民や中小事業者に対する切れ目のない継続した経済対策については国に要望していく。



市民サービスの充実及びゼロカーボンシティの実現について

質問

現在、閉鎖している、すかつとランド九頭竜の体育館を一般に開放してはどうか。
ゼロカーボンシティの実現と電気料金高騰に対応する太陽光発電の一般世帯への導入に向けて補助制度を設けてはどうか。

回答

すかつとランド九頭竜の設置及び管理に関する条例を令和3年6月に廃止し、民間事業者による活用方法を募集したところ、体育館について提案があった。福井市施設マネジメント審査部会で認められたため、準備が整い次第、活用を進めていく。また、事業者からは、各種スポーツ団体や学校などへの貸出しを検討していくと伺っている。
一般世帯の太陽光発電は、オール電化の普及率が特に高い本市においても、家庭から排出されるCO2を削減する手段として有効と考える。今後は補助金等の促進策も含めて、脱炭素ビジョン策定の中で普及の方策を検討していく。



災害に強いまちづくりについて

質問

地震や水害などの事象ごとに、被害や避難者の数は変わり、その被害を想定した日々の訓練が重要となる。感染症やジェンダーなどへの新しい対応が求められる中、総合防災訓練も時代のニーズにあった内容が必要になると考えますが、今年度新たな訓練はあったのか。

回答

今年6月に実施した総合防災訓練では、推進地区においてペットの同行避難訓練、女性にも配慮した避難所訓練、避難行動要支援者の安否確認訓練に新たに取り組んだ。
避難行動要支援者の安否確認訓練では、昨年のモデル地区である宝永地区が作成した個別避難計画に基づき、実際に支援者から要支援者へ安否確認を行うなど、実効性のある訓練を実施した。
今回の訓練での課題について検証を行い、今後の災害対応に生かしていく。

(5月臨時会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は12月に掲載)
第34号議案	監査委員の選任について	5月30日	同意	
第35号議案	監査委員の選任について	//	//	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	//	承認	
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	//	//	●
第3号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度福井市一般会計補正予算)	//	//	●
第4号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度福井市一般会計補正予算)	//	//	
第5号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度福井市集落排水事業会計補正予算)	//	//	
第6号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	//	受理	
第7号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	//	//	
第8号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	//	//	
第9号報告	専決処分の報告について(市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴訟の和解について)	//	//	

(6月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は12月に掲載)
第36号議案	令和5年度福井市一般会計補正予算	7月13日	原案可決	●
第37号議案	令和5年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	//	//	
第38号議案	福井市地区計画等を活用した市民による身近なまちづくりの推進に関する条例の一部改正について	//	//	
第39号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	//	//	●
第40号議案	福井市手数料徴収条例及び福井市印鑑条例の一部改正について	//	//	●
第41号議案	福井市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	//	//	
第42号議案	福井市営住宅条例の一部改正について	//	//	
第43号議案	福井市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について	//	//	
第44号議案	福井市火災予防条例の一部改正について	//	//	
第45号議案	工事請負契約の変更について(東安居団地D棟新築工事)	//	//	
第46号議案	工事請負契約の変更について(東安居団地D棟新築給排水衛生設備工事)	//	//	
第47号議案	財産の取得について(除雪ドーザ)	//	//	●
第48号議案	財産の取得について(ロータリ除雪車)	//	//	●
第49号議案	財産の取得について(CD-1型消防ポンプ自動車)	//	//	●
第50号議案	財産の取得について(タブレット端末一式)	//	//	
第51号議案	町の区域を新たに画することについて	//	//	
第52号議案	教育委員会教育長の任命について	6月26日	同意	
第53~87号議案	農業委員会委員の任命について	7月13日	同意	
第10号報告	令和4年度福井市一般会計継続費の繰越しに関する報告について	6月26日	受理	
第11号報告	令和4年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//	
第12号報告	令和4年度福井市一般会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	//	//	
第13号報告	令和4年度福井市中央卸売市場特別会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//	
第14号報告	令和4年度福井市中央卸売市場特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//	
第15号報告	令和4年度福井市地域生活排水特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//	
第16号報告	令和4年度福井市水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//	
第17号報告	令和4年度福井市水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//	
第18号報告	令和4年度福井市簡易水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//	
第19号報告	令和4年度福井市下水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//	
第20号報告	令和4年度福井市下水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//	
第21号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	//	//	
第22号報告	福井市土地開発公社の令和5年度予算に関する報告について	//	//	
第23号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和4年度決算に関する報告について	//	//	
第24号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和5年度事業計画等に関する報告について	//	//	

(6月定例会)

請願・陳情の審議結果

請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は12月に掲載)
請願第1号	日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書の提出に関する請願書	7月13日	不採択	●
請願第2号	保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の提出を求める請願	//	//	●
陳情第1号	「マスクを外すことを基本とする」理由等について、子どもたちと保護者に学びの機会等を提供することを求める陳情書	//	//	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対 欠…欠席
 ※原則、議長（八田一以）は採決に加わりません。

議案番号	審議結果	一真会										新政会					市民クラブ			公明党		日本共産党		無所属									
		見谷喜代三	皆川信正	青木幹雄	今村辰和	堀江廣海	八田一以	池上優徳	寺島恭也	神原光賀	葛野早智代	浦上逸人	漆崎與	佐野弘	加藤貞信	野嶋祐記	奥島光晴	伊藤洋一	藤田論	田中義乃	堀川秀樹	村田耕一	玉村正人	酒井良樹	高田稔浩	下畑健一	菅生敬一	津田かおり	鈴木正樹	山田文葉	近藤實	岩佐武彦	宮岡勝也
5月臨時会																																	
第2号報告	承認	賛	賛	賛	賛	欠	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第3号報告	承認	賛	賛	賛	賛	欠	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
6月定例会																																	
第36号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第39号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第40号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第47号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第48号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第49号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第1号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第2号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
陳情第1号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	一	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議長の動静(令和5年4月~6月)

4月6日	北信越市議会議長会 評議員会(富山県) 北信越市議会議長会 定期総会(富山県)
6月1日	福井市北陸新幹線建設促進協議会 理事会 福井市北陸新幹線建設促進協議会 総会
6日	全国競輪主催地議会議長会近畿部会 定期総会
13日	全国市議会議長会 役員選考委員会(東京都) 全国市議会議長会 理事会(東京都)
14日	全国市議会議長会 定期総会(東京都)

定例会外の議会日程(令和5年4月~6月)

5月9日	初会合
17日	各派代表者会議
6月19日	議員全員協議会、議会運営委員会
26日	議会運営委員会、議員全員協議会

5月臨時会

5月30日	各派代表者会議、議員全員協議会、 本会議、議会運営委員会
-------	---------------------------------

6月定例会

6月26日	本会議
27日	議会運営委員会
7月3日	本会議(一般質問)
4日	本会議(一般質問)
5日	本会議(一般質問)
6日	総務委員会、建設委員会
7日	教育民生委員会、経済企業委員会
11日	議会運営委員会
13日	議員全員協議会、本会議

編集後記

5月の改選で議員になり、初めてづくしの日々。今定例会でも多くのことを学びました。市議会だよりを通じ、多くの皆様に議会の情報をお届け出来るよう務めていきます。

さて、新型コロナが5類に移行され、様々な催しでまちが活気づく中、全国で痛ましい自然災害が頻発しています。これからも暑さが続きますが、ご自愛ください。(葛野・佐野)

福井市議会だより 委員長 堀川 秀樹 副委員長 葛野 早智代
 編集委員 委員 下畑 健二、伊藤 洋一、田中 義乃、山田 文葉、高田 稔浩、佐野 弘

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

傍聴をご希望される方へ

議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。

本会議

※定員97人 うち車椅子6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

北陸新幹線開業効果最大化対策

議員全員協議会

お問い合わせ

議会事務局 庶務課

TEL.0776-20-5506

FAX.0776-20-5744

WEBでのお問い合わせフォームはこちら



市議会HPはこちら



福井市議会 日程

検索

今回は
9月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します